

(参考様式4)

事業所名グループホーム成長苑

目標達成計画

作成日: 令和 4年 9月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束の弊害を内部研修や委員会開催で正しく理解して、身体拘束をおこなっていない。身体拘束委員会を運営会議2か月に一度行っている。しかし、安全確保のため了解を得て時間を限定し一時拘束する場合もあった。	全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	緊急止むえない状況で安全確保のために、了解を得て身体拘束があったので、今後は身体拘束の弊害を正しく理解して、研修や勉強会を実施し、身体拘束を行わないケアを実施していきたい。	3ヶ月
2	2	コロナ禍できていない部分もあるが事業所では住民とあいさつを交わすなど日常的に交流している。バラ苑や花見外出などコロナの為に機会が減っている。	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍であっても、毎日の病院への通院や買い物において地域住民と挨拶をするなどして繋がりを継続できるように取り組んでいくようにする。	3ヶ月
3	48	コロナ禍の為。 本人は自分なりに近隣や地域の人々とかかわることが少なくなってしまった。	利用者が、自分なりに近隣や地域の人々とかかわったり、交流することができるようにする。	本人が持つ能力の活用として、コロナ禍であっても、毎日の病院への通院や買い物において地域住民と挨拶をするなどして繋がりを継続できるように取り組んでいくようにする。利用者が、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができるようにする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。